



# FULL COMPLETE POWER STOCK LANTERN

## 野電 パワースtockランタン1300・フルコンプリート

No.74176022

### 取扱説明書

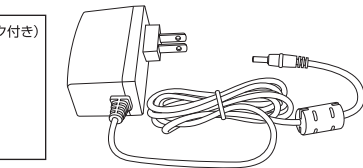
この度は、本製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この説明書をよく読んでください。また、事故や器具の損傷等を防ぎ、安全に正しくご使用いただくために、注意事項は必ずお守りください。この取扱説明書は、大切に保管してください。

#### 【梱包内容】

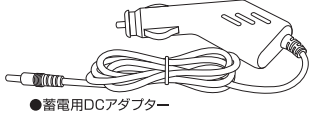
- ランタン本体 (着脱式フック付き)
- 専用蓄電ACアダプター
- 専用蓄電DCアダプター
- ランタン用収納ケース
- アダプター用収納ケース
- マグネット
- 取扱説明書



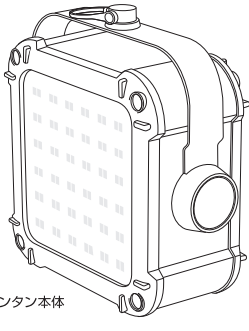
●マグネット



●蓄電用ACアダプター



●蓄電用DCアダプター



●ランタン本体

※形状が変更になる場合があります。

#### 【特長】

- 本製品は大容量の蓄電式リチウムイオンバッテリーを搭載したポータブルランタンです。
- パワーバンクとして優れた機能を持ち、USB出力ポートからデジタルデバイス（スマートフォン・タブレットPC）に充電できます。
- ※外部USB機器に充電するためのケーブルは付属していません。外部USB機器に付属しているケーブルをご使用ください。
- ※充電能力はスマートフォン2000mAh、タブレット端末7000mAhとして算出した理論値です。目安とお考えください。
- ※外部機器への充電・入力は、記載の規格で必ずご使用いただけることをお約束するものではありません。外部機器の仕様や設定によっては作動しない場合があります。あらかじめご了承ください。

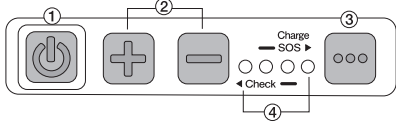
蓄電 本製品への充電 (INPUT)

充電 本製品から外部USB機器への充電 (OUTPUT)

#### 【各部の説明】

- 長押し：2秒以上押す
- 短押し：1秒押す

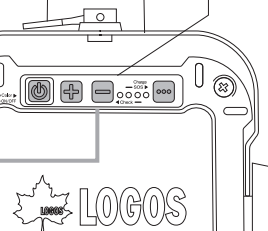
- ① 電源 ON/OFF (長押し) ・モード変更 (短押し)
- ② 明るさ調節 (短押し) ・バッテリー残量チェック (長押し)
- ③ パワーバンク ON/OFF (短押し) ・SOSフラッシュ (長押し)
- ④ バッテリー残量表示灯



- ⑤ 入力ポート (ランタン本体蓄電用)
- ⑥ USB出力ポート (パワーバンク用)

吊り下げ用フック 各種スイッチパネル

ハンドル



蓄電・充電用ポートカバー

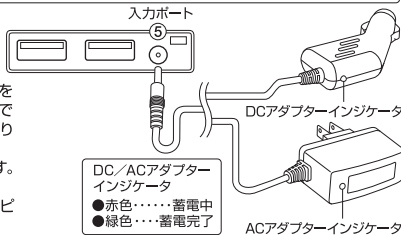
#### 【操作方法】

##### ■蓄電方法 (ランタン本体への蓄電)

- お求め直後のバッテリー残量が50%以下の場合は、50%程度まで蓄電を行ってください。(バッテリー残量の確認はLEDランタン機能の使用方法④を参照してください。) また半年に一度は必ず同様の蓄電を行ってください。怠ると、蓄電池の特性上、内蔵電池寿命を大幅に縮めたり蓄電できない状態を招きます。

- 専用のACアダプターもしくはDCアダプター (車のシガーソケット使用) をランタン本体の⑤入力ポート (本体蓄電用) に接続します。

- ※製品保護のため、専用DCアダプター (車のシガーソケット) を使用する際は製品の電源を切り、車のエンジンをかけた状態で接続してください。接続後は製品の電源をONにしても問題ありません。
- ※専用アダプターのインジケータで蓄電状態を確認できます。(本製品は過電圧防止のための保護回路を内蔵しています。)
- ※点灯させながら製品本体に蓄電することも可能ですが、蓄電スピードは低下します。また、点光量が高いと蓄電はされません。



入力ポート

DCアダプターインジケータ

ACアダプターインジケータ

DC/ACアダプターインジケータ

- 赤色……蓄電中
- 緑色……蓄電完了

##### ■LEDランタン機能の使用方法

- ① 電源ON/OFF ①電源ボタン①をプッシュ (長押し) すると、前回点灯時のモードで点灯します。但し、光量はレベル1で点灯します。再び長押しで消灯します。

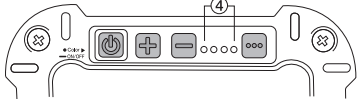
- ② モード切り替え 点灯状態で②電源ボタン①をプッシュ (短押し) 毎に白色→中間色→暖色の順に切り替わります。

LED光色	特長
白色	色温度が高い昼光色。蛍光灯のような涼しい色。
中間色	昼光色と電球色の中間色で華やかで心地よい色。
暖色	色温度が低い電球色。ガスランタンのような暖かい色。

- ③ 光量調整 点灯状態で③+/-ボタン②をプッシュ (短押し) 毎にレベル1からレベル10まで10段階で光量調節できます。+/-共に10段階目のプッシュで光が点滅して光量の最高・最低を知らせます。※省エネの観点と安全のため、光量レベル1以外で連続点灯が約2時間を経過すると自動的にレベル1の光量に切り替わります。

- ④ バッテリー残量確認 点灯時・消灯時に関わらず④+/-ボタン②のいずれかをプッシュ (長押し) でインジケータ④が点滅し、4段階表示します。

(インジケータ) バッテリー残量表示灯



バッテリー残量表示灯	バッテリー残量 (目安)
○ ○ ○ ●	0~25%
○ ○ ● ●	26~50%
○ ● ● ●	51~75%
● ● ● ●	76~100%

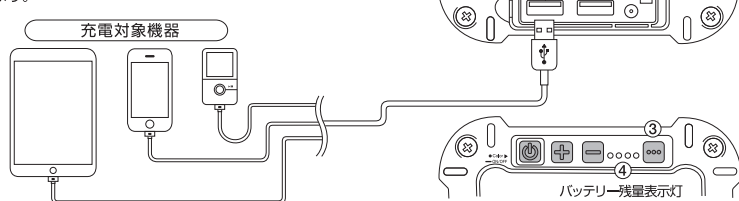
- ※バッテリー残量が約4%以下になると、残量灯が1つ点灯していてもライトが点灯しないことやパワーバンクが作動しないことがあります。
- ※30%ほどの低蓄電状態で高い光量による点灯を行うと、ライトが点滅状態になることがあります。その場合は、再度蓄電していただければ正常にご使用頂けますのでご安心ください。
- ※蓄電池の消耗が進むと、充電完了状態であっても蓄電量は徐々に低下します。バッテリー残量表示灯も75%以下や50%以下になります。

- ⑤ SOSフラッシュ機能 点灯状態で③SOS点灯ボタン③のプッシュ (長押し) でSOS点滅を開始します。再びプッシュ (短押し) でSOS点滅は解除され、通常点灯に戻ります。※SOS点滅は緊急時以外は使用しないでください。※SOS点滅は光量調節ができません。SOS点滅中に光量調節ボタンをプッシュすると、SOS点滅は解除され通常点灯になります。

##### ■パワーバンク機能 (外部USB機器への充電) の使用方法

- ① +/-ボタン③を1回プッシュ (短押し) でパワーバンク機能がONになり、バッテリー残量表示灯がゆっくり点滅します。再びプッシュ (短押し) でOFFになります。

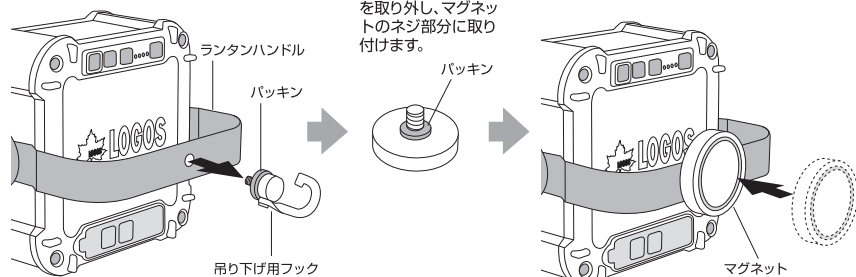
- ② 充電対象物 (USB充電機器) をUSBポート⑥に接続し、パワーバンク機能③をONにすると充電が開始されます。省エネの観点から、約4時間を経過すると自動的にOFFになります。※充電用のケーブルは、必ず充電対象物付属の純正ケーブルを使用してください。純正ケーブル以外では正常な充電ができない場合があります。



- ※2A出力のUSBポートが2個付いています。2A対応の充電対象物を同時に2台充電できます。
- ※製品および外部機器のバッテリー容量および外部環境によって充電時間が異なります。
- ※蓄電対象物に充電しながら、ランタン本体に蓄電することはできません。

#### 【マグネットの装着方法】

- ① パワースtockランタンのハンドルから、吊り下げ用フックを取り外します。
- ② 吊り下げ用フックに付いているパッキンを取り外し、マグネットのネジ部分に取り付けます。
- ③ マグネットをハンドルに取り付けてください。



- ※ランタン使用後は、マグネットは取り外し、吊り下げ用フックに付け替えて、マグネットは箱に収納して保管してください。

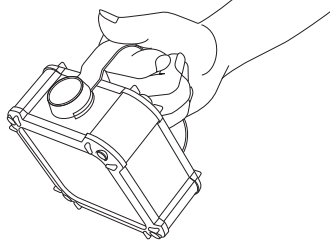
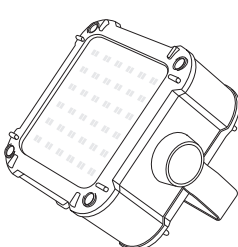
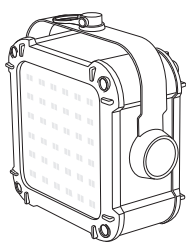
- マグネットは強力なネオジウム磁石です。外部機器に影響を与える恐れがありますので、取扱いはご注意ください。

## 【使用例】

■卓上などに置く

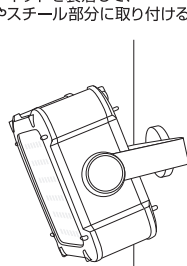
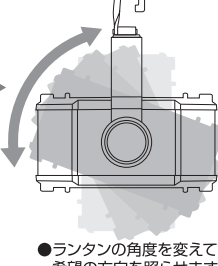
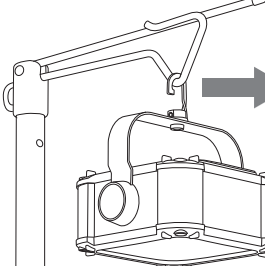
■ハンドルを回転してアップライトに

■ハンドライトで



■ランタンフック等に吊り下げる

■マグネットを装着して、車やスチール部分に取り付ける



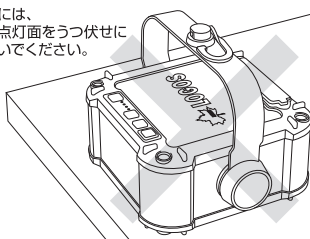
●ランタンの角度を変えて希望の方向を照らせます。



警告

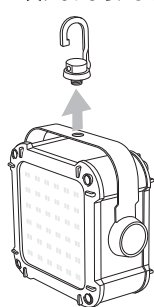
- 点灯時、本体は非常に熱くなります。ライト面やライトに接する部分に紙類・布類・木製品等やその他の燃えやすい物を接触させたままにしないでください。融かしたり焦がす恐れがあります。また火災や本体の故障につながる恐れもあるため、くれぐれも注意してください。また、使用中は本体、特に点灯面が非常に高温になります。火傷の恐れがありますので、点灯面には手等を触れないようにしてください。
- 点灯面をうつ伏せに置くことは絶対にしないでください。熱により置いた面の融けや焦げなどに繋がります。また、点灯中のランタンの移動の際はボディではなく、ハンドルを握って移動してください。

点灯時には、絶対に点灯面をうつ伏せに置かないでください。

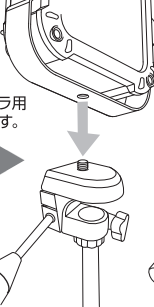


■カメラ用三脚に取付ける

- ネジ式フックを取り外します。(取り外したフック・バックキは失わないようにしてください。)



●図の要領でカメラ用三脚に取付けます。



- ランタンの角度を変える。また、三脚の機能を使った組み合わせで自在に照射方向を設定してください。※三脚によってはネジの長さやサイズが合わない場合があります。

■お手入れについて

- 光源が汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けて優しく拭き取り後、水拭きして乾燥させてください。アルコール系クリーナー（シンナー等）は変色の原因になるため、絶対に使用しないでください。

野電 パワーストックランタン1300・フルコンプリート 仕様

- 総重量：(約) 830g
- 本体サイズ：(約) 幅12.5×奥行12×高さ5.3cm
- 明るさ：[LED球値] (約) 1300ルーメン [ロゴス基準値] (約) 1125ルーメン
- 点灯モード：白色/暖色/中間色 (10段階調光)
- 常用点灯時間：(約) 強/5時間、弱/80時間
- 蓄電方式：AC100Vコンセント、DC12Vシガーソケット
- 蓄電時間：(約) 4.5時間
- 充電能力：[スマホ] (約) 5台分・[タブレット] (約) 1台分
- 出力電圧/電流：[1口使用] DC5V/2A [2口使用] DC5V/2A
- 使用形態：吊り、置き、立て、手持ち、マグネット
- 構成：本体、マグネット、収納ポーチ×2、蓄電用ACアダプター、蓄電用DCアダプター
- 主素材：ナイロン、アルミ、スチール、シリコン、ウレタン、ネオジウム磁石

※点灯時間や作動時間などの目安時間は理論値です。目安とお考えください。

※点灯時間は消灯までの目安時間です。製品の仕様により突然消灯するものと徐々に照度が低下して消灯するものがあります。

※充電能力はスマートフォン2000mAh、タブレット端末7000mAhとして算出した理論値です。目安とお考えください。

※外部機器への充電・入力、記載の規格で必ずご使用いただけることをお約束するものではありません。外部機器の仕様や設定によっては作動しない場合があります。あらかじめご了承ください。

## 使用上の注意

●事故や器具の損傷を防ぎ、安全に正しく使用していただくために以下の事項を必ず守ってください。

- 本製品は、ストーブ等の火気付近での使用・保管・放置はしないでください。故障・発火・ケガ等の原因になります。
- 車内のダッシュボードなど直射日光の当たる場所や高温・多湿な場所での使用・保管・放置はしないでください。故障や発火・けがの原因となります。
- 点灯時には光源を直視しないでください。光量レベルの高い時は特に気を付けてください。
- ランタン本体に蓄電しながら点灯させる場合は、約4時間毎に消灯し、本体が冷えてから再点灯させてください。製品の誤作動や火災に繋がる恐れがあります。

- 本製品は生活防水仕様です。ただし、長い間水中に置くことと故障の原因となります。また水中に落下させないよう注意してください。

- お求め直後の蓄電量が50%以下の場合は、50%程度まで蓄電を行ってください。(バッテリー残量の確認はこの取扱説明書の表面LEDランタン機能の使用法④バッテリー残量確認の項を参照してください。) また半年に一度は必ず同様の蓄電を行ってください。急ると、蓄電池の特性上、電池寿命を大幅に縮めたり蓄電できない状態を招きます。
- 点灯時、本体は非常に熱くなります。ライト面やライトに接する部分に紙類・布類・木製品等やその他の燃えやすい物を接触させたままにしないでください。溶かしたり焦がす恐れがあります。また火災や本体の故障につながる恐れもあるため、くれぐれも注意してください。
- スマートフォン等への充電時の出力は約2Aです。充電対象品が2Aの入力に対応していない場合は使用しないでください。対応していない物に使用しての対象物の破損や事故は一切の保障はできません。対応しているかどうかは充電対象品メーカーに確認してください。
- 点灯状態で小さな箱など、密閉された空間には絶対に入れないでください。火災の恐れがあります。
- 他の充電対象物に充電しながら、ランタン本体に蓄電することはできません。

- 本製品は約2Aの出力となります。充電対象品の仕様によっては、対象品内の蓄電池の寿命を早める可能性があります。
- 本製品は全ての携帯電話への充電を保障するものではありません。スマートフォンなど充電対象物やケーブルの仕様によっては、充電速度が非常に遅い場合があります。また稀に充電ができない場合もあります。
- 充電対象品やケーブルの仕様によっては、充電量が最大でも90%~99%まで充電できない場合があります。
- 蓄電池の特性上、製品の点灯時間や充電能力は、繰り返しの使用により低下していきます。
- 使用中は本体、特に点灯面が非常に高温になります。点灯面には触れないようにし、火傷には十分注意してください。また、点灯面をうつ伏せに置くことは絶対にしないでください。熱により置いた面の融けや焦げなどに繋がります。
- 使用中は本体がとて熱くなります。ランタンを移動の際はボディではなく、ハンドルを握って移動してください。
- 気温が10℃~40℃以外の場所で使用しないでください。電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
- 本体への蓄電は、付属の専用ACアダプター・専用シガーソケット以外は使用しないでください。正常に蓄電が行えない場合があります。また、発火や感電・故障の原因となります。

- 不安定な場所に置いて使用しないでください。激しい転倒による衝撃等で発火や故障の原因になります。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- お子様には使用させないでください。火傷の恐れがあります。
- テント内で使用の際は、就寝前に必ず消灯してください。
- 本製品のポートやコネクタに金属などの異物を差し込まないでください。発火や感電・故障・けがの原因となります。
- 分解・修理・改造をしないでください。発火や感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で操作・使用すると感電や故障・けがの原因となります。
- 使用後は必ず電源を切って保管してください。内蔵電池の寿命を大きく損なう恐れがあります。
- ハンドルの角度は回転できる側に緩やかに行ってください。急激に変えたりすると破損の原因となります。
- 本製品は落下等強い衝撃を与えたり、乱暴な取扱いはしないでください。発火や故障・けがの原因となります。
- スイッチなどのボタンは引っ張らないでください。ボタンが抜ける恐れがあります。
- ポートカバーは密閉性を必要とするため少し硬さがありますが、蓄電・充電時以外は必ず確実に閉じてください。
- フックやハンドルを吊り下げて使用する場合は、必ず落下しない状態であることを確認してからご使用ください。また、衝撃や揺れで落下させないよう注意してください。風が強い際は取り外してください。
- ネジ式のフックは着脱可能です。外した際は紛失しないよう注意してください。またフックのネジを完全に締めこんだ際はハンドルに対して水平にはなりません。少し戻して水平の位置で使用は可能です。
- 付属のケーブルは、ランタン本体の蓄電用です。スマートフォンへの充電は、お手持ちの充電ケーブルをご使用ください。

## 付属のマグネットに関する注意

●事故や器具の損傷を防ぎ、安全に正しく使用していただくために以下の事項を必ず守ってください。

- ペースメーカーや埋め込み型除細動器 (ICD) 等を使用の方は、マグネットを挿入部 (埋め込み部) の上には絶対に当てないでください。また、胸ポケットにも入れないでください。その他の電子医療機器等を装着されている方も同様に扱ってください。
- 携帯電話、磁気カード、精密電子機器など磁力により破損の恐れのある物に近づけないでください。
- 振動や衝撃の多い場所、不安定な設置面では使用しないでください。落下の原因になります。

- マグネットを取り付けた状態のランタンに強い衝撃を与えると、ランタンが落下したり、取り付け面に傷が付く等、ケガや器具の損傷に繋がります。
- ランタン点灯中や、電源をOFFにした直後は、高温状態です。取り外すため、素手で触れるとヤケド等の恐れがありますので、必ず器具が冷えてからランタンに触ってください。
- ご使用状況によっては、取り付け面に傷をつける場合があります。ご了承ください。

- マグネットは強力なネオジウム磁石です。外部機器に影響を与える恐れがありますので、取扱いにはご注意ください。
- 無理な力を加えないでください。また、落下しない事を確認のうえ使用してください。
- カメラやビデオカメラの三脚用ネジ穴に対応するようにしていますが、ネジ穴の深さや規格によっては取り付けられない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 取り付け面から取り外す際は、磁力が強力なため、垂直に引っ張るとハンドルが変形したり、取り外しが難しくなります。まず、両手でランタンを包み込むように持ち、片側を少し浮かすと簡単に取り外せます。
- 取り付け状態でのランタンの角度を変える場合は、必ず片方の手でハンドルを支えてマグネットが動かないようにして行ってください。
- 万一の落下に備え、マグネットを取り付けたランタンの真下に立ったり、寝たり、座ることはおやめください。